

記入上の注意： 経歴調書を除き、行の増減などによって、各枠の大きさを変更しないこと。もとの形式を変えて記入されている場合は、審査の対象にならない場合があります。

「ポスドク研究者、大学院博士後期課程学生等国際学会派遣プログラム」

申請書（平成 28 年度）

ふりがな 名前	印	受け入れ教員または指導教員等	
所属・身分（学生の場合は 博士後期課程の入学年度）			
現住所	〒		
携帯電話番号（ない場合は必ず連絡が取れる番号）			
大学のEメールアドレス（事務からはここに送信する）			

（１）学会発表計画等

I. 学会名、開催場所等
【学会名、分科会名等】 【発表者名（複数で発表する場合は全員の氏名）】 【開催国、都市名、会場名】 【学会開催期間】 【渡航期間】
II. 発表タイトル

記入上の注意： 経歴調書を除き、行の増減などによって、各枠の大きさを変更しないこと。もとの形式を変えて記入されている場合は、審査の対象にならない場合があります。

Ⅲ. 発表内容の概要

Ⅳ. 研究業績（論文、学会発表などの主要な業績5点以内を、新しい業績から、箇条書きにして列挙。著者（申請者を含む）全員の氏名（最大5名程度）を、論文や発表記載と同一の順番で記入。単著・単独発表でも氏名を記載する）

記入上の注意： 経歴調書を除き、行の増減などによって、各枠の大きさを変更しないこと。もとの形式を変えて記入されている場合は、審査の対象にならない場合があります。

(2) 学会参加の経費

①総額、②費用別使用内訳（交通費、宿泊費）を、千円単位で記入。申請総額は、規定の額を上回ることはできない。

平成28年度	申請総額	_____千円	(下記内訳に基づいて申請する補助金総額)
(内訳)			具体的に
A.	交通費（渡航費）	_____千円	()
B.	宿泊費（ホテル代のみ）	_____千円	()
C.	学会参加費（年会費は含まない）	_____千円	()
A+B+C	合計額	_____千円	(申請総額と異なる場合もある)

※上記すべてについて帰国後、1週間以内に領収書の提示が求められ、適切な経費と判断されるもののみ支給される。

(3) 受け入れ教員または指導教員等の推薦

申請者の研究内容が海外の国際学会で発表する必要があること、本プログラムの支援を受けるにふさわしい優秀な研究者であることなどについて、記入してください。

指導教員名	印
-------	---

記入上の注意： 経歴調書を除き、行の増減などによって、各枠の大きさを変更しないこと。もとの形式を変えて記入されている場合は、審査の対象にならない場合があります。

経 歴 調 書

	学 歴（大学入学から記入）
年 月	
	研究歴・職歴（受賞歴や競争的資金の獲得がある場合は、それについても必ず記入）
年 月	
	以上、相違ありません 名前 印